

1. はじめに

地球上の生きものは、生命が誕生して以来、さまざまな環境に適応して進化し、未知のものも含めると 3,000 万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらのいのちは、それぞれが網の目のようにさまざまな関係でつながっており、長い年月をかけて現在の地球の姿を作りあげてきました。私たち人間も地球という大きな生態系の一員であり、地球によって生かされているのです。

ところが、私たち人間は、世界各地で生態系を破壊し、たくさんの生きものたちを危機的状況に陥らせています。今、地球上の生きものは恐竜が滅んだときよりもはるかに速いスピードで絶滅しています。私たちは、人間を含めた地球上のいのちが互いにつながりあい、支えあっていることをあらためて認識し、常に謙虚にそして慎重に行動しなければなりません。

2. 進行する「3つの危機」

地球上の種の絶滅のスピードは、化石記録からの推定値の 1,000 倍（40,000 種/年）にも達し、たくさんの生きものたちが危機に瀕しています。

第1の危機

人間活動や開発など、人が引き起こす負の要因による生物多様性への影響です。開発による生息・生育地の減少や環境の悪化、めずらしい生きものの乱獲や盗掘が今も続いています。

第2の危機

第1の危機とは逆に、自然に対する人間の働きかけが減ることによる影響です。かつては、薪や炭、屋根葺きの材料などを得る場であった里山や草原が利用されなくなった結果、その環境に特有の生きものが絶滅の危機に瀕しています。一方で、シカ、イノシシなどが分布を拡大して農林業被害や生態系への影響が発生するなど、さまざまな問題を引き起こしています。

第3の危機

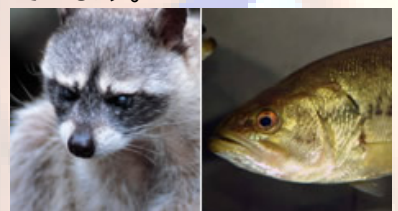
外来種や化学物質などを人が持ち込むことによる生態系の攪乱です。国内の他の地域から持ち込まれたものも含め、ブラックバスやマンギースなどの外来種は、もといいた生きものを食べたり、生息・生育場所やエサを奪ったり、近縁種と交雑し遺伝的な攪乱をもたらすなど、地域固有の生態系を脅かしています。また、化学物質の中には動植物への毒性をもつものがあり、生態系に影響を与えています。



コウノトリ(写真提供:豊岡市)



シカによる食害



左:アライグマ 右:ブラックバス(オコウチバス)

写真は環境省のホームページに掲載されているものです。

3 . 絶滅の危機にある野生生物とレッドデータブック

「3つの危機」などに起因する自然環境の変化により、今、多くの野生生物が減少しています。こうした絶滅の危機にある野生生物の状況を知るために、「レッドデータブック」という本があります。

レッドデータブックは絶滅のおそれのある野生生物の情報をとりまとめた本のことで、国際自然保護連合（IUCN）という団体が1966年に初めて発行しました。レッドという言葉は、危険な、危機的などというイメージを連想させるとはいますが、レッドデータブックも同様で、「危機的な状況にある生きものの本」と理解されます。

また、国や県でもIUCNと同様にレッドデータブックを作成しており、国では1991年に環境庁（現在の環境省）が『日本の絶滅のおそれのある野生生物』というタイトルで、青森県では2000年に『青森県の希少な野生生物 - 青森県レッドデータブック - 』というタイトルで作成し、以後順次改訂を繰り返しています。

野生生物をさまざまな人間活動のせいで絶滅させることのないように、今、どんな生きものが絶滅のおそれがあるのかを把握する必要があります。そして、その危険な状態におかれた生きもののことを、より多くの人々に知ってもらうように作成された本が、レッドデータブックです。



青森県レッドデータブック（2010年改訂版）表紙

4 . 青森県レッドデータブックカテゴリー定義

区 分	基本概念	対応する 環境省カテゴリー
絶滅野生生物 E Xランク	県内では、すでに絶滅したと考えられる野生生物	絶滅 E X 野生絶滅 E W
最重要希少野生生物 Aランク	県内では、絶滅の危機に瀕している野生生物	絶滅危惧 A類 C R 絶滅危惧 B類 E N
重要希少野生生物 Bランク	県内では、絶滅の危機が増大している野生生物	絶滅危惧 類 V U
希少野生生物 Cランク	県内では、生息・生育を存続する基盤が脆弱な野生生物	準絶滅危惧 N T
要調査野生生物 Dランク	県内では、生息・生育情報が不足している野生生物	情報不足 D D
地域限定希少 野生生物 L Pランク	県内では、地域内に孤立している個体群で、地域レベルでの絶滅のおそれが高い野生生物	絶滅のおそれのある 地域個体群 L P

次ページからは、青森県レッドデータブック（2010年改訂版）において選定した916種のうち一部の種について、簡単な解説文付きでご紹介します。

より詳しくご覧になりたい方は、青森県ホームページに「青森県レッドデータブック(2010年改訂版)」が掲載されていますのでそちらをご覧ください。